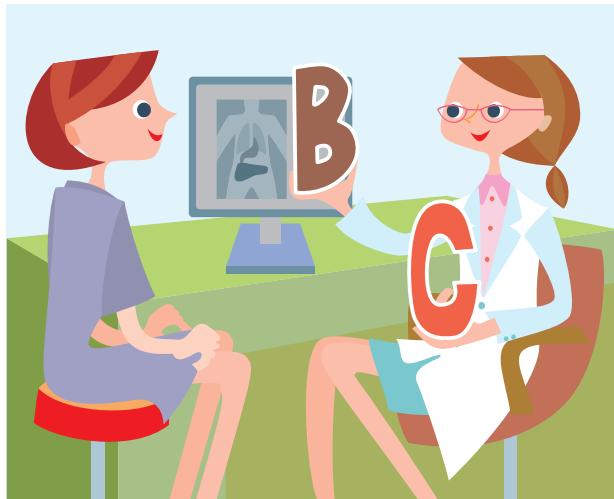


病気をきちんと知って健康になろう!

B型肝炎 C型肝炎

肝がんの主な原因是ウイルス性肝炎。
なかでもB型・C型の持続感染です。



肝炎とは?

肝臓が炎症を起こし、肝臓の細胞が壊れて働きが悪くなる病気を肝炎といいます。その原因の大半はウイルスにあります。それがキャリアになり、そのまま放置すると多くが慢性肝炎に進行し、さらには一部の人では、肝硬変、肝がんへと進行すると言われています。

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、病気が進行していても自覚症状がなかなか現れないのに、気がついたときにはかなり病気が進行している場合が多く見られます。「肝炎」についてきちんと知つて、適切な治療をしましょう。

肝炎になるとどうなるの?

肝炎を引き起こすウイルスにはA～E型の5種類があり、B型・C型が慢性肝炎・肝硬変・肝がんに進行します。B型は血液や体液を、C型は血液を介して感染します。

B型肝炎はウイルス感染時期により経過が異なります。母子感染及び乳幼児時期に感染すると自覚症状のないキャリアになる場合があり、うち、約1割の方が慢性肝炎に進行します。また成人で感染するとほとんどの人が自覚症状がないまま治癒しますが、近年、その約1割がキャリアになることがわかってきてています。

一方、C型肝炎は、ウイルス感染後

ウイルスに感染していたら

感染していても、肝臓に異常がない場合もあります。しかし、肝臓の状態を把握できるように定期的な検査を受け、状態に合わせて治療をすれば、すぐに治療をする必要のない場合もあります。治療法としてインターフェロン療法などがあります。

ウイルス検査を受けよう

肝炎ウイルス検査を受けたことのない方、特に、①平成6年以前に、大量に出血するような出産や手術を受けた方、②平成4年以前に輸血を受けた方、③長期に血液透析を受けている方、④臓器移植を受けた方、⑤ボディピニアスや入れ墨をしている方は肝炎ウイルス検査を受けることをお勧めします。

に全身倦怠感や食欲不振などの症状が出現することがあります。自覚症状が軽微なために気づかぬうちに約7割の方がキャリアになり、そのまま放置すると多くが慢性肝炎に進行し、さらには肝硬変、肝がんへと進行すると言われています。

肝炎ウイルス検査を受けられるところ

【無料検査】

①各健康福祉センター（保健所）、千葉市保健所、船橋市保健所

②千葉県又は柏市が委託している医療機関

⇒ 詳しくは、お近くの健康福祉センター（保健所）又は市保健所にお問い合わせください。



【この他にも、検査が受けられます。】

・市町村では、健康増進事業に基づく肝炎ウイルス検診を実施しています。

⇒ 詳しくは、お住まいの市町村の健康増進事業担当課にお問い合わせください。

・政府管掌の健康保険に加入している会社の生活習慣病予防検診でも実施しています。

⇒ 詳しくは、お勤めの会社又は社会保険健康事業財団千葉県支部（Tel:043-222-7088）にお問い合わせください。



検査の結果、肝炎ウイルスに感染していることがわかった方



肝臓専門医のいる医療機関を受診

※県では、「指定医療機関」として指定しています。

肝臓専門医が、インターフェロン治療導入の可否を判断します。

県では、インターフェロン治療への公費による医療費助成を行っています。



インターフェロン治療を導入する場合



住所地を管轄する保健所に受給者証を申請

【申請手続きに必要な書類】

①申請書 ②診断書 ③住民票（世帯全員）④課税証明書（世帯全員）⑤保険証の写し（本人のみ）



審査会で認定されると、県庁疾病対策課から受給者証をお送りします。

インターフェロン治療を受ける際には、受給者証を提示してください。

市町村民税の課税年額に応じた自己負担限度額を超えた医療費は、公費で負担します。

◆お問い合わせ 県疾病対策課 TEL043-223-2665